

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- 発展を続ける街と公民館活動 ……福岡市照葉公民館
- リモートを活用したコロナ禍の公民館講座（パソコン講座） ……宮若市中央公民館
- 「公民館活動を通じて育む地域の和」 ……東峰村中原自治公民館
- 公民館の「憩いの場」としての機能を生かした異文化交流！
～にほんごひろば KANDA～ ……苅田町立中央公民館

こちら県公連

- 令和3年度福岡県公民館実践交流会報告

令和4年3月 公民館情報通巻152号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

特色ある公民館活動

パパと一緒にベビーリーフ
〈福岡市〉



パソコン講座リモート会場
〈宮若市〉



獅子入れ
〈東峰村〉



日本語発表会
〈苅田町〉



【地域の概要及び経緯】

「照葉のまち」への入居が始まったのが平成17年12月です。平成19年4月に照葉小学校が開校し、翌年4月に照葉中学校が開校となりました。当公民館は平成21年7月に開館となりました。こども病院開院、青果市場開設、福岡市総合体育館開館、商業施設のオープン等、順調に街の開発は進み、アイランドシティ全体の人口も約13,000人と急増しております。照葉北小学校が平成31年4月に開校となりましたが、人口の増加に伴い、令和6年4月に第3の小学校が開校予定です。人口の年齢別の構成としては、30～50代前半の若い働き世代とその子息が中心世代となっていること、65才以上のシニア世代は全体人口の5.7%と、高齢化率が極めて低いことが校区の特徴です。先進的モデル都市・健康未来都市の実現に向けて立地企業体などと協働し、街の開発は順調に進んでおります。

【活動内容】

主たる公民館事業の一つに乳幼児ふれあい学級があります。前期・後期それぞれ3回コースの「0歳児親子の子育てひろば」、月2回開催の「ベビーり～ふクラブ」、月1回開催の「パパも一緒にベビーり～ふクラブ」を、東区役所地域保健福祉課の協力を得ながら開催しております。乳幼児を含めた未就学児の人口は増加傾向にあり、当公民館の最重要事業として活動しております。

子ども健全育成事業の一環として、小学生を対象にした「夏休みわくわく教室」を開催し、制作活動・体験活動を通して、子どもの健全育成に努めております。

また、地域体育振興事業として、毎週土曜日に校区の特徴を活かし、「照葉ボートクラブ」「照葉ジョギングクラブ」を開催し、海陸両面でのスポーツ振興を図っております。

【成果と課題】

乳幼児ふれあい学級、子ども健全育成事業、地域体育振興事業とも出席者は増加傾向にあり、「あつまる、まなぶ、つなぐ」場としての公民館の役割は果たせておりますが、コロナ禍の中、開催の中止や人数制限をせざるをえない状況が続いております。公民館活動については、「公民館だより」や「公民館ブログ」で広報していますが、校区住民には地域の多様な活動や行事に参加していただき、地域コミュニティ活動の楽しさと大切さを感じてもらい、将来的には地域活動の担い手になっていただければと期待しております。



パパと一緒にベビーリーフの様子



夏休みわくわく教室の様子

【問合せ先】 福岡市照葉公民館

〒813-0017 福岡市東区香椎照葉2丁目2番12号

TEL 092-674-3101 FAX 092-674-3102

リモートを活用したコロナ禍の公民館講座（パソコン講座）

宮若市中央公民館

【地域の概要】

宮若市は平成18年に旧宮田町と旧若宮町が合併し誕生しました。福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、自動車関連企業を中心とした産業と、脇田温泉や竹原古墳など豊かな自然や歴史がバランスよく調和したまちです。また、近年は「リモートワークタウン ムスブ宮若」プロジェクトが開始し、民間企業と連携して、学校跡地をリモートワーク拠点や AI 開発拠点とするまちづくりを進めています。

【講座開催の経緯】

中央公民館では毎年初心者向けのパソコン講座を開催しています。会場は公民館の視聴覚室で、現在 20 台のパソコンが設置してあります。必要な技術を身に付ける機会を提供することにより、市民の情報技術の向上を支援し、デジタルデバイドの解消を目的としています。

【活動内容】

- ①内 容：ワード講座・エクセル講座(初心者向け)
- ②日 程：週1回(約2時間) 各講座2か月間
昼コース(15時～)・夜コース(19時～)
同じ内容を2つの時間帯で開催し、
申込時に都合の良い時間帯を選択

現在コロナ対策として、各部屋の利用人数を定員の半数としており、当初講座の受講人数を定員上限の10名にしていました。しかし、定員を超える申込があり、せっかくなら全員が受講できないか講師と相談した結果、視聴覚室の講義内容を公民館内の他の会議室にリモートで受講できるように会場を整えました。

パソコンを持参できる方を確認し、持参者はリモートの会場で受講し、希望者全員が受講できるような体制となりました。

講座では基本的なワード・エクセルの使い方のほか、年度により異なりますが、簡単なプログラミング体験やタブレット操作体験なども取り入れております。

【成果と課題】

コロナ禍であるからこそ、公民館内でリモートを活用し会場を分散することにより、多くの方に参加してもらえるやり方を考えることができました。受講生からは再度受講したいとの声もいただき、リモート会場でも問題なく運営ができました。

しかし今回の講座は、講師のほかボランティアスタッフを各部屋に配置できる体制が取れたので、問題なく運営できましたが、講師数の確保ができなければ、受講生に対してのフォロー体制がとれず、満足度が低くなりかねません。リモート講座をする場合は、本来受ける講座と同水準の理解度・満足度にできる体制がとれるかよく検討するべきであると感じました。

今後はほかの講座を検討する際にも、対面やリモート、またそれらの併用など多様な形態での開催を検討していきたいと思います。



【視聴覚室の様子】



【リモート会場の様子】

【問合せ先】 宮若市中央公民館（宮若市教育委員会 社会教育課 公民館・スポーツ振興係）

〒823-0011 福岡県宮若市宮田 72-1

TEL 0949-32-0123 FAX 0949-32-0221

「公民館活動を通じて育む地域の和」

東峰村 中原自治公民館

【地域の概要及び経緯】

東峰村は、福岡県中央部の東端にあって、豊かな自然環境に育まれた地域の特色を活かした持続可能な村づくりを進めています。村内には、中央公民館の性格を持つ東峰村公民館と 14 の自治公民館が連携しながら、公民館運営を行っています。今回は大字宝珠山地域にある中原自治公民館の取組みを報告します。

【活動内容】

中原自治公民館は、50 軒の世帯で構成されており、住民の半数が高齢者という地域ですが、公民館長や体育主事、区長、子供会代表等で組織された自治公民館役員を中心に、伝統を引き継ぎながら、より良いコミュニティづくりを目指した取り組みを行っています。

①「獅子入れ」

7月に、地区役員が法被姿に身を固めて、神社でお祓いを受けた後に、1軒1軒の家を巡って獅子の面に頭を噛んでもらい、邪気のお祓いを願います。



【写真1：獅子入れの様子】

②「花いっぱい活動」

9月に村で一斉に行われる環境美化の日に併せて、公民館の花壇や地区内に設置されたプランターの花苗の植栽を行っています。

③「鬼火焚き」

1月3日に行われる恒例行事で、前日に竹や木材を使って高さ6m、幅4mのやぐらを組み立て、参加者に振舞うお神酒の徳利や杯も自分たちで作成します。当日は早朝の6時30分点火にもかかわらず、地域内から多くの方が集まり、炎に包まれたやぐらに1年の無病息災と家内安全を祈願します。また、参加者はお神酒と恒例となっている鳥の鉄板焼きを囲みながら、新年の抱負を語るとともに思い思いに交流を楽しむ行事となっています。



【写真2：鬼火焚きの様子】

【成果と課題】

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、昨年度から思うように活動が出来づらくなっていますが、地域の和を取り持つ大事な役割だと考えています。地区の皆さんの協力を得ながら、さらに魅力あふれる公民館となるよう努力したいと思っています。

【問合せ先】 東峰村公民館

〒838-1792 福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425 番地

TEL 0946-72-2301 FAX 0946-72-2302

公民館の「憩いの場」としての機能を生かした異文化交流！
～にほんごひろば KANDA～

苅田町立中央公民館

【地域の概要及び経緯】

苅田町は、北九州市と行橋市の間に位置する人口約 3 万 7 千人、面積 49.24 平方キロメートルの町です。東は周防灘に面し、国際貿易港・苅田港と広大な臨海工業地帯が広がっています。また、苅田港沖には北九州空港があり、苅田港、東九州自動車道苅田北九州空港インターチェンジと併せ、陸・海・空の交通結節拠点となっています。

近年、苅田町に住む外国人が年々増加しており、2020 年のデータでは、苅田町の人口の約 3% を占める約 1,100 人も外国人が住んでいます。平成 29 年中には「最も外国人が増加した町」となりました。地域住民、地域社会の構成員として積極的に日本の文化や習慣、生活様式、言語を身に付けようと努力している外国人が多くいますが、外国人と日本人の間には「制度・文化の壁」「言葉の壁」「心の壁」があり、地域において多文化が共存・共生していくためには、お互いの文化や考え方を理解し、互いの人権を尊重することが必要です。日本人と外国人の交流を通じて、それらの壁を取り除き、外国人が地域や社会に参画するための第一歩となるよう「にほんごひろば KANDA」を実施しています。

【活動内容】

毎月第四日曜の午前中から苅田町立中央公民館で日本人・外国人が参加し毎回様々な異文化交流イベントを行っています。

- みんなで楽しく DANCE！
- みんなで生け花を楽しもう
- まるごとベトナム！
- 葉書絵で年賀状作り
- 苅田町歩きで日本の春を楽しもう！
- 外国人による「わたしの気持ち日本語発表会」 等



【写真 1：生け花講座の様子】

【成果と課題】

参加した外国人からは「とても楽しかったです。みんなと日本語を話すと、どんどん日本語が上手になると思っています。」「もっと日本の文化を知りたいです。」等の声上がり、日本人からも「外国の文化を知ることができとても楽しかったです。」「もっと日本の色々なことを教えてあげたい」等の感想がありました。今後も更にはほんごひろば KANDA がより周知されるよう活動の幅を広げ、互いの文化や習慣、価値観を知る学びの場を提供することができればと思います。



【写真 2：日本語発表会の様子】

【問合せ先】 苅田町立中央公民館

〒800-0351 福岡県京都郡苅田町京町 2-5

TEL 093-434-0061 FAX 093-434-0456



1 令和3年度の福岡県公民館実践交流会について

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参集しての開催を中止し、紙上開催とすることとしました。

2 アンケートのまとめ

【岡垣町】

- ・高齢者対象の講座を校区でも実施していますが、なかなか社会貢献につなぐのは難しいと感じています。岡垣町の事業の組み立て方を参考にしたいと思います。
- ・本公民館で行っているサークル活動は、「自分磨き」がほとんどです。また、高齢化にも直面し、サークル活動すらできなくなっているのも現状です。そこに「社会貢献」とつなげることで「自分磨き」への意識向上、若年層への周知にもつながり、良いのではないかと感じました。

【大牟田市】

- ・個人では、なかなか体験することのできないカヌー体験活動を通し、スポーツや自然を学ぶことができるとても良いプログラムだと思う。その地域の人材や環境を取り込みながら行っており、自分の地域でも地域にあるものを使いながら活動していきたいと思いました。
- ・どこの市や町でも同じような問題を抱えているが、様々な活動を通して、子どもたちや地域のことについて、熱心に取り組まれていることに感銘を受けました。

【福岡市】

- ・地域で実施可能な多くの活動を公民館が主体となり地域コミュニティ事業として取り組み、各々ではできない子どもの教育を地域で支えている事例として、地域公民館の進むべき方向性を示していると思いました。
- ・公民館が核となり、地域の様々な団体、施設等との協力・連携ができており、多世代交流の場にもなり、地域の活性化が図られていると感じました。

【北九州市】

- ・市民センター、まちづくり協議会が核となり、小中学校の連携や連絡をつなぎ交流を深めています。人権講演についても、企画・運営に各学校も加わり問題点を話し合い実施内容を決定しており、さらなる活動の拡がりに期待しています。
- ・人権問題は自分自身が当事者にならないと、客観視してしまうので小学校などで学ぶことで、身近に感じることでできるとも良い事業だと感じました。

【築上町】

- ・子どもたちが社会性を育んでいける支援を実施していますが、関わっている方々の努力も大変だと思います。この事例は地域公民館の今後の在り方について深く考えていく内容でした。
- ・中央公民館が自治公民館と連携して実施することは見習うべきことだと感じました。自立心・協力性・社会性は明らかに向上しており、体験の場の必要性を痛感しました。

【新宮町】

- ・公民館活動において、若者と子どもの参加が少なく悩んでいます。現状では、子ども会で小学生が4名しかいなく、社会人になると家庭で都会に出てしまっています。次世代コミュニティを支えるリーダーの必要性は十分に分かっているのですが現実には苦慮しています。
- ・通学合宿は、自公民館でも実施していますが、現在コロナの影響で実施できずにいます。今年度異動して早く実施できることを願っています。地域住民と子どもたちの関わりがよいものであると改めて感じました。今度、自公民館で実施する際の参考にしたいと感じました。



【うきは市】

- ・一般ボランティアの方々が、中心になっていることや、地域と社会が連携し一体となって取り組むことを目標にしているところがすばらしいと感じました。
- ・自治協議会と小学校、育成市民会議の連携・協働について参考になりました。また、「わんぱく教室」というネーミングに活発さを感じました。地域全体と一緒に子育てをしている感じがとても共感できました。

【川崎町】

- ・「課」を越えている取組みが、なかなか難しいイメージがありますが、越えることでできなかったことが「できる」に変わり、地域住民が中心となった事業になっていることがすごいと思いました。
- ・「健康寿命を延ばす健康づくり」「高齢者の引きこもりや認知症の予防」健康維持増進をめざし、地域と行政が協力し合っの活性化は、まさに、今私たちに課される課題です。

【実践交流会について】

- ・わが地区でも少子高齢化が進行し、私が幼いころとは随分違ってきており、地域との関わりや異年代との交流が希薄になってきているように感じます。学校や子ども会、老人会等との連携を図り、コロナウイルス感染の収束とともに、この実践交流会は故郷の活性化の足掛かりになると思っています。
- ・コロナ禍での館長就任のため、大人数の集まりや式典は一度もなく、他の館との接点もない状況です。したがって、書面とオンラインなどで多少の知識や雰囲気は理解できますが、リアルな場での感触には程遠いのが現状です。今回初めて会場に行きリアルな発表を聞けると期待していましたが、非常に残念でした。
- ・4月に採用され、やっと1年。皆さんとバスで会場を訪れることをとても楽しみにしていました。書面開催となり残念です。資料も分かりやすかったのですが、やはり生の声でお聞きしたかったので、せめてZoomでも開催していただきたかったです。
- ・どの実践報告からも、目的意識を持ち、地域の特性の中で取り組まれている関係者の皆様の努力が感じ取られました。少子高齢化が進む中で、地域の課題解決には、従来の社会教育の枠組みに加えて、福祉等の団体との連携が必要だと考えている。実践交流会では、様々なヒントが得られるので今後も継続してほしいです。
- ・自治公民館関係者としては、公立公民館との役割分担をどうしたらよいかの分かりません。自治（町内）公民館あるいは、公立公民館をとわず、新規の（講座）立案時の自治区住民の意見をどのようにしているのでしょうか。苦慮しています。
- ・厳しい状況の中でも、工夫して活動されていることが紙面から伝わってきました。ありがとうございました。

3 来年度実施に向けて

今大会は、コロナ禍の影響により参加者の皆様の安全を確保するため、「資料集」の送付のみとしました。やはり、「参集しての協議がしたかった」や「実践発表者の生の声から熱を感じたかった」などの御意見が多くあり、公民館の大切な機能である「つどう」ことの価値について改めて考えさせられました。

最後になりましたが、貴重な実践を提供いただいた公民館等関係者の皆様に、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

